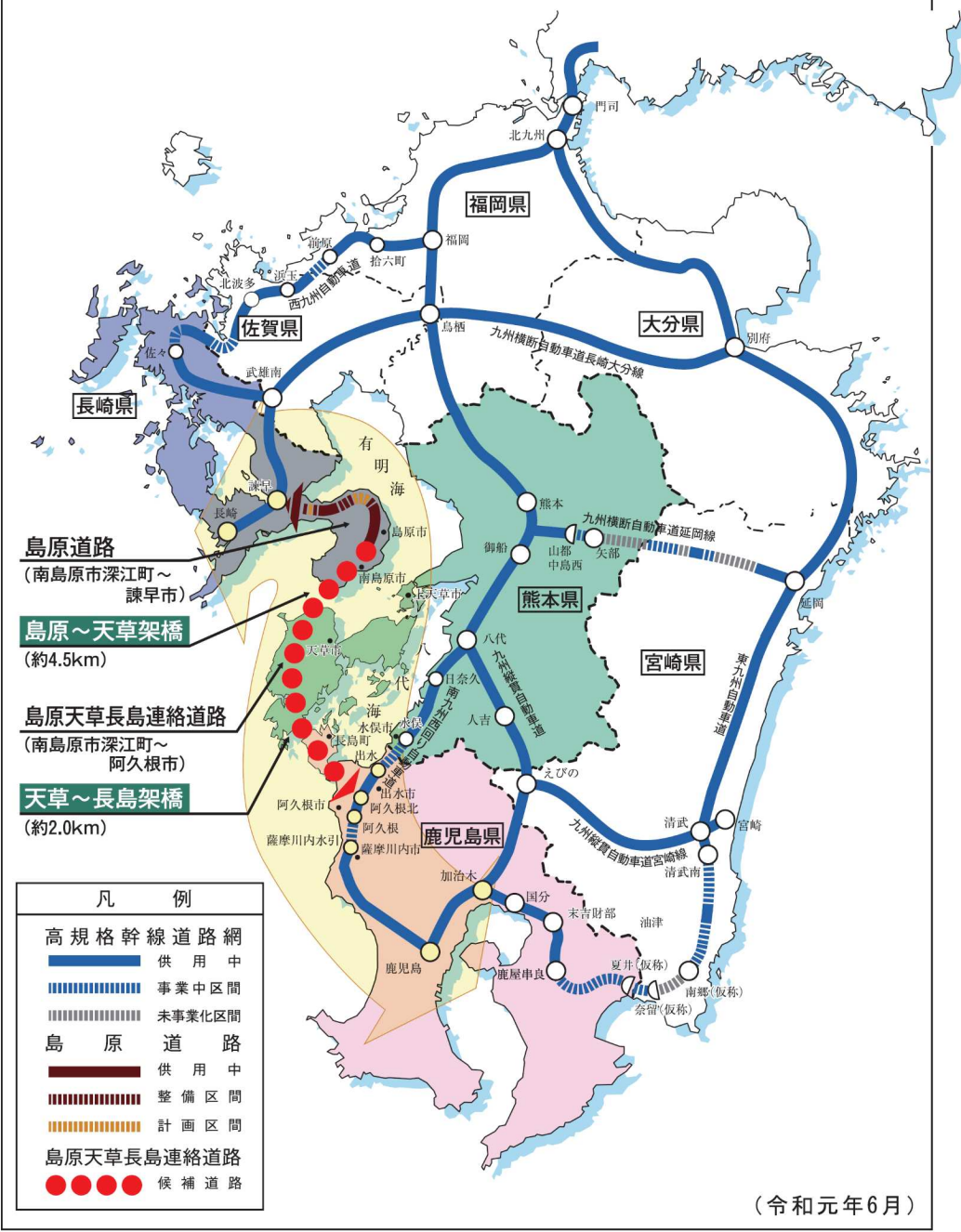


島原・天草・長島架橋構想、九州西岸軸構想



主な高規格道路を記載しています。

～ メモ ～

令和元年度

島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想推進地方大会



日時：令和元年6月15日(土) 13:00～

場所：天草市牛深総合センター（熊本県天草市牛深町160番地）

島原・天草・長島架橋建設促進協議会
一般社団法人九州経済連合会

< 島原・天草・長島架橋建設促進協議会事務局 >

熊本県交通政策課	熊本市中央区水前寺 6-18-1	TEL096-383-1111(代表)
長崎県地域づくり推進課	長崎市尾上町 3-1	TEL095-824-1111(代表)
鹿児島県交通政策課	鹿児島市鴨池新町 10-1	TEL099-286-2111(代表)

会次第

1 開会

2 主催者あいさつ

(1) 島原・天草・長島架橋建設促進協議会会長

(2) 一般社団法人九州経済連合会会長

3 来賓あいさつ

4 来賓紹介・祝電披露

5 三県架橋PR動画披露

6 講演

講師：大分大学経済学部門

／減災・復興デザイン教育研究センター復興デザインユニット

准教授 大井 尚司 氏

演題：「「みち」がつなぐネットワークとその絆とは 三県架橋の
もたらす可能性と期待について」

7 地元代表者による意見発表（長島町長、島原商工会議所会頭）

8 大会決議（天草市長）

9 閉会

【講師紹介】

大分大学経済学部門／減災・復興デザイン教育研究センター復興デザイン
ユニット兼任
准教授 大井 尚司（おおい ひさし）氏



【専門分野】

交通論、交通・地域計画、観光経済、公益事業論、公企業論

【経歴】

福岡県北九州市出身。1996年熊本大学法学部卒、旅行会社勤務を経て2007年神戸大学大学院修了。（一財）運輸政策研究機構運輸政策研究所（現：運輸総合研究所）を経て、2009年から現職、2018年から減災・復興デザイン教育研究センター復興デザインユニット兼任。2010年から地域交通の勉強会「地域と交通をサポートするネットワーク in Kyushu(Qサボネット)」を運営。2018年4月から総務省「地域人材ネット」地域力創造アドバイザーに任命。九州各地で地域公共交通の確保維持に携わるほか、各種委員、講師等を多数歴任。

大会決議（案）

島原・天草・長島架橋構想は、九州縦貫自動車道、九州横断自動車道、南九州西回り自動車道、東九州自動車道、西九州自動車道などの九州を大きく一周する高速交通体系と併せて、いわゆる「丸に十の字」型の交通ネットワークを形づくるものである。

同架橋構想は、有明海・八代海沿岸地域を環状に結ぶ広域交通網を整備することにより、九州新幹線、空港、港湾などと一体となって、東アジアをはじめとする国際的な交流基盤を形成するほか、大規模災害時における緊急避難路や復旧・復興支援物資などを輸送する「命の道」としての機能を有するなど、災害に強い多軸型国土の形成や九州の一体的な浮揚を図るために必要不可欠なプロジェクトである。

特に、平成28年熊本地震により、九州縦貫自動車道をはじめとする、九州内の交通ネットワークが寸断されたことを受け、リダンダンシー（多重性）の役割を果たす新たな縦軸としての本架橋構想の重要性が再認識されたところである。

さらに、九州西岸軸構想は、長崎県、熊本県、鹿児島県にまたがる九州西岸地域を、島原・天草・長島架橋を中核とした地域高規格道路で結ぶことにより、県境を越えた相互交流、連携を可能にし、産業・経済・文化・観光等のつながりを持つ新しい経済文化圏を形成しながら、地域の一体的な活性化を図る構想である。

特に人口減少が加速する中、交流人口拡大による地方創生に向けた様々な取組が進められており、この両構想の実現は、その効果を大きく発揮させる基盤となり得るものである。

については、島原・天草・長島架橋構想と九州西岸軸構想を推進するため、次の事項を関係機関へ強く提言する。

記

- 1 天草・長島架橋及び島原・天草架橋建設に資する調査の再開
- 2 島原道路の整備促進及び島原天草長島連絡道路の具体化に向けた検討の実施
- 3 必要な道路整備のための予算確保

以上決議する。

令和元年6月15日

島原・天草・長島架橋建設促進協議会
一般社団法人九州経済連合会
三県架橋議員連盟